

創立40周年記念 土木学会略史

(1) 本会創立以前における一般工学専門学会の状況

わが国における工学に関する学会の来歴をみると、明治13年初めて工学会設立の際は工学に関するすべての学科をこれに包容してほかに各専門の学会を設ける必要を感じなかつたのであつたが、工学専門の者なお少数な当時としてはこのような状態はもとより当然のことで、本邦の文化なお幼稚であつた結果と云うことができる。明治18年には日本鉱業会が設立せられ、これが工学所属の学会に関する専門分業の嚆矢である。ついで翌明治19年には造家学会すなわち今の日本建築学会及び明治21年に日本電気学会の創立を見、さらに数年を経て造船協会及び日本機械学会が明治30年に、工業化学会は翌31年に設立せられたのである。当時における工学所属の専門を大別して7科とすれば上に掲げた6学会のほか土木学会の存在を見なければならぬのであるが、本会の設立が遅延したのは種々の理由があつたのである。すなわち明治31年に鉄道協会が設立せられて土木の一半をこれに収容したのはその主なものの一つと云うことができる。以上は本会設立以前における工学に関する専門学会の趨勢の概要であるが、文化の進展にともなつて各専門分業、いわゆるスペシャリゼーションの必要を感じるの一般の法則であつて、わが土木学会もまたこの法則によりその設立を提唱せられたのであつた。

(2) 本会の創立

1. 本会の創立準備

前項に述べたように本会設立の機運が熟したので大正3年3月30日土木学会創立の件に関し協議を遂げる目的をもつて古市公威氏より書面を石黒五十二氏ほか28氏に発送し、同年4月6日、当時東京市京橋区山町町の工学会へ参集を要請し第1回の協議会を開催したのである。出席者は次の17氏であつた。

石黒五十二氏	丹羽鋤彦氏	岡田竹五郎氏
小田川全之氏	大屋権平氏	沖野忠雄氏
吉村長策氏	中山秀三郎氏	武笠清太郎氏
日下部弁二郎氏	増田礼作氏	古川阪次郎氏
近藤虎五郎氏	近藤仙太郎氏	小柴保人氏
古市公威氏	広井勇氏	

当日は古市公威氏より土木学会設立の趣旨を説述され、一同ただちにこれに賛成の上設立有志者たることを快諾されたので、まず大体の方針を議しつつ土木学会設立趣意書及び学会定款並びに同規則の草案を起草するために岡田竹五郎氏、吉村長策氏、日下部弁二郎氏、古市公威氏、近藤虎五郎氏、近藤仙太郎氏、広井勇氏を特別委員に挙げた。

特別委員は日をあらためて4月12、17、22日及び26日の4回会合を催し、慎重に研究討議を重ね別項のごとき各草案を作成し、これを5月5日の設立有志者会合に提出したのである。上記の会合に出席されたのは次の諸氏であつた。

石橋絢彦氏	石黒五十二氏	石丸重美氏
-------	--------	-------